

令和2年度 入学式 東日本国際大学 学長式辞
(令和2年5月8日オンライン入学式用)

「新入生の皆さん、そしてご家族の皆様、御入学おめでとうございます。」
それと共に、私たち教職員や在学生にとっては「新入生の皆さん、よくぞ本学に入学して下さいました。ありがとうございます。入学していただいた限り、皆さんが入学して良かったと思えるよう頑張りましょう。」と申し上げます。

しかし本年は年の初めから「コロナウイルス騒動」で、日本に限らず世界中がざわついていて、学ぶべき環境にない感じです。きっと皆さんも心落ち着かず、入学しても何を学んでいいのかわからないと思っていることでしょう。

しかしもう心配はいりません。本学は落ち着いています。というのは本学の建学の精神は儒学だからです。儒学というのは本来、儒教といいまして、始まりは中国の春秋時代の哲学者「論語」の著者である「孔子」です。この儒学を本学は建学の精神としています。儒教は宗教と言うより哲学と言った方が良く、人々の日常の生き方を示しています。

さて儒学において一番大切な思想は「仁（ジン）」です。突然「仁」と言われても、皆さんはとまどうでしょう。

しかし心配はいりません。まずその本質を考えてみましょう。「仁」というのは文字的には、人が何か重いものを背負っているということです。そしてその意味は、人が人として一番大切なもの、いわゆる人間らしさ、人の一番大切な重い心、すなわち「優しさ」とか「人の気持ちを考える」ということなのです。

この「仁」を大切にすることとは、すなわち、人との付き合い方を大切にすることです。おそらく皆さんは卒業するまでに何十回となくいろいろな授業でこの「仁」という言葉を聞くことでしょう。そのたびに「仁」の重さが分かってくると思います。

そして卒業する頃には孔子の言う「仁」を理解し、それを持つ人に育つと思います。私は皆さんがそういう人になってくれることを期待しています。

ともかく4年間というのは「あっ」という間です。1日1日を大切に過ごしてください。

私は今、残念ながらコロナ騒動の為に東京にいざるを得ませんので、皆さんにお会いできません。とても残念です。しかし近々皆さんとは授業などでお会いできるでしょう。

どうか皆さん志を高く持ち、4年間を楽しんで下さい。

令和2年5月8日

東日本国際大学
学 長 吉村 作治